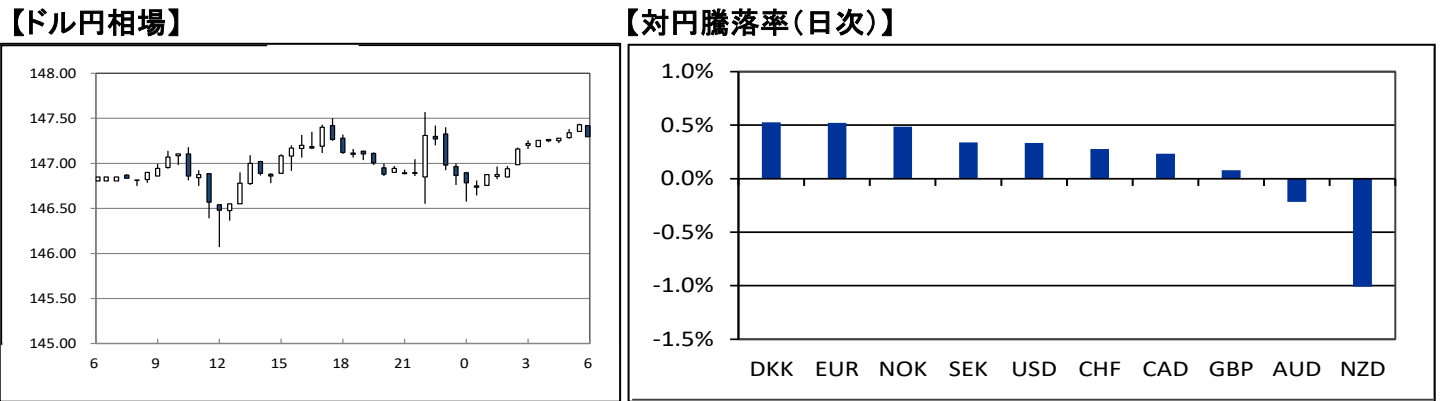


【昨日の市況概要】				公示仲値	147.12
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.96	1.0996	161.71	1.2866	0.6638
SYD-NY High	147.57	1.1047	162.55	1.2867	0.6643
SYD-NY Low	146.07	1.0978	160.60	1.2812	0.6595
NY 5:00 PM	147.30	1.1013	162.35	1.2827	0.6597
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,008.39	242.75	日本2年債	0.2900%	▲0.0100%
NASDAQ	17,192.60	4.99	日本10年債	0.8100%	▲0.0300%
S&P	5,455.21	20.78	米国2年債	3.9590%	0.0244%
日経平均	36,442.43	209.92	米国5年債	3.6808%	0.0058%
TOPIX	2,581.90	28.35	米国10年債	3.8381%	▲0.0076%
シカゴ日経先物	36,320.00	▲ 155.00	独10年債	2.1760%	▲0.0040%
ロンドンFT	8,281.05	45.82	英10年債	3.8250%	▲0.0620%
DAX	17,885.60	73.55	豪10年債	3.9320%	▲0.0670%
ハンセン指数	17,113.36	▲ 60.70	USDJPY 1M Vol	12.12%	▲1.13%
上海総合	2,850.65	▲ 17.29	USDJPY 3M Vol	11.50%	▲0.62%
NY金	2,479.70	▲ 28.10	USDJPY 6M Vol	10.52%	▲0.34%
WTI	76.98	▲ 1.37	USDJPY 1M 25RR	▲2.63%	Yen Call Over
CRB指数	275.48	▲ 0.85	EURJPY 3M Vol	10.60%	▲0.53%
ドルインデックス	102.57	0.01	EURJPY 6M Vol	9.96%	▲0.27%

東京	東京時間のドル円は146.96レベルでオープン。岸田首相が9月の自民党総裁選に出馬しない意向を固めたとの報道やRBNZにてハト派な利下げを実施したことを受け、日本株の急落を横目にドル円も146.07まで一時下落。一巡後は日本株とともに147円台前半まで買い戻され、147.17レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.17レベルでオープン。午後に米7月CPIを控え、若干円売りに偏りながら推移し、結局146.89レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0992レベルでオープン。節目となる1.10を超えて上昇し、年初来の高値水準となる1.1028まで堅調に推移し、結局1.1023レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2829レベルでオープン。朝方に発表された英7月CPIが市場予想を下回ったことで下落していたが、その後じわじわと反発し結局1.2850レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は146.89レベルでオープン。朝方に発表された注目の米7月CPI(前月比)は予想通りの結果となるも、前年比では2.9%を記録し、2021以来3%台を割り込み、米ディスインフの伸びが鈍化している結果となった。その後はドル売りが優勢となり、146.57まで下落する。午後は中東情勢を巡る不安が小幅後退した事を受け、低下していた米金利が上昇する展開を横目にドル円も147.30付近まで戻し、147.30レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。注目の米CPIの結果発表を控えている中、米長金利の低下を受け小幅上昇し、1.1023レベルでNYオープン。午前中は先述の予想を下回った米7月CPI(前年比)の結果を受け、ドル売りが優勢の中、1.1047まで値を上げる。午後はドル売り一巡となり、1.1010付近まで小幅反落し、1.1013レベルでクローズ。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event			結果	予想
8月14日	15:00	英	CPI(前月比/前年比)	7月	-0.2%/2.2%	-0.1%/2.3%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)・速報	2Q	0.3%/0.6%	0.3%/0.6%
	18:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	6月	-0.1%	0.5%
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	7月	0.2%/2.9%	0.2%/3.0%
【本日の予定】						
Date	Time	Event			予想	前回
8月15日	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・速報	2Q	2.3%	-2.9%
	08:50	日	GDP(季調済/前期比)・速報	2Q	0.6%	-0.7%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・速報	2Q	2.6%	3.4%
	10:30	豪	雇用者数変化	7月	20.0k	50.2k
	10:30	豪	失業率	7月	4.1%	4.1%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	7月	5.2%	5.3%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	7月	2.6%	2.0%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	8月	-6.0	-6.6
	21:30	米	小売売上高速報(前月比)	7月	0.4%	0.0%
	21:30	米	小売売上高(除自動車/前月比)	7月	0.1%	0.4%
	21:30	米	フィラデルフィア連銀景況	8月	5.2	13.9
	21:30	米	新規失業保険申請件数	10-Aug	235k	233k
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	7月	-0.3%	0.6%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.00	1.0950-1.1080	161.50-163.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は146.96でオープン。岸田首相の総裁選不出馬報道に円買いで反応し、一時146.07をつけるも流れは続かず、ほどなくして147円台まで値を戻す。その後の米7月CPIでは、発表直後に1円程度上下動するなど値幅は出たものの、おおよそ予想通りの内容に明確な方向感はず、結局147.30でクローズした。注目された米7月CPIは、現状に大きな影響を及ぼすものではなかった。今後しばらくは大きなイベントもなく、季節柄も含め、マーケットはより落ち着いていくことが考えられる。短期的なキャリー勢による円売りも想定され、ドル円は底堅い推移になることを予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。